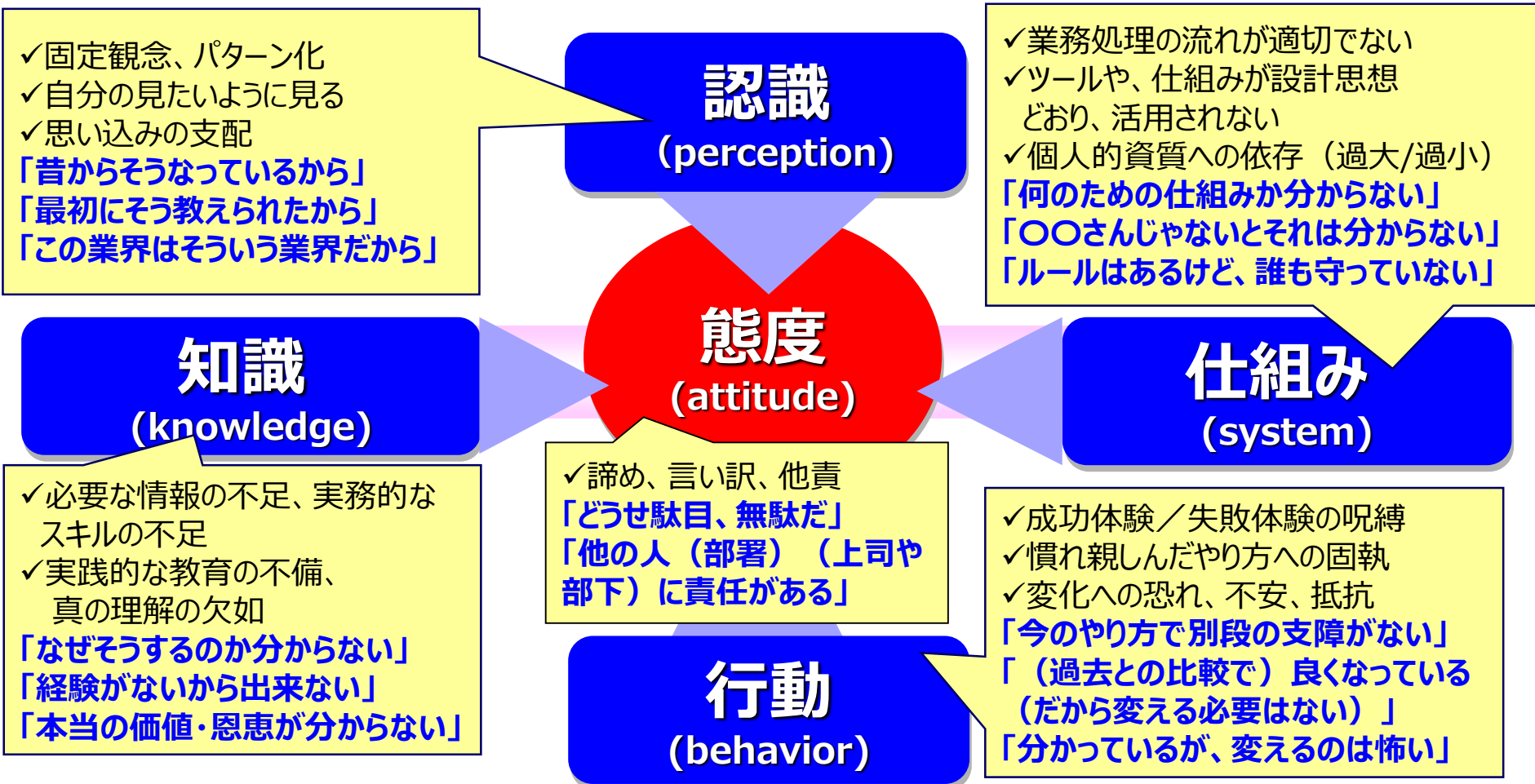


APIの原点（1/2）／成功を阻害する5つの要因

社員は皆、「良い仕事をしよう」と思っているが、その意思通り彼等がいつも成功するわけではない。

成功を阻害する要因がどの会社にも存在し、迅速な問題解決を阻んでいる。

成功の阻害要因の存在を直視し、それを排除することによって、社員と組織の成功が得られる。



APIの原点（2/2）／「Knowing（理解）」と「Doing（実践）」の一致

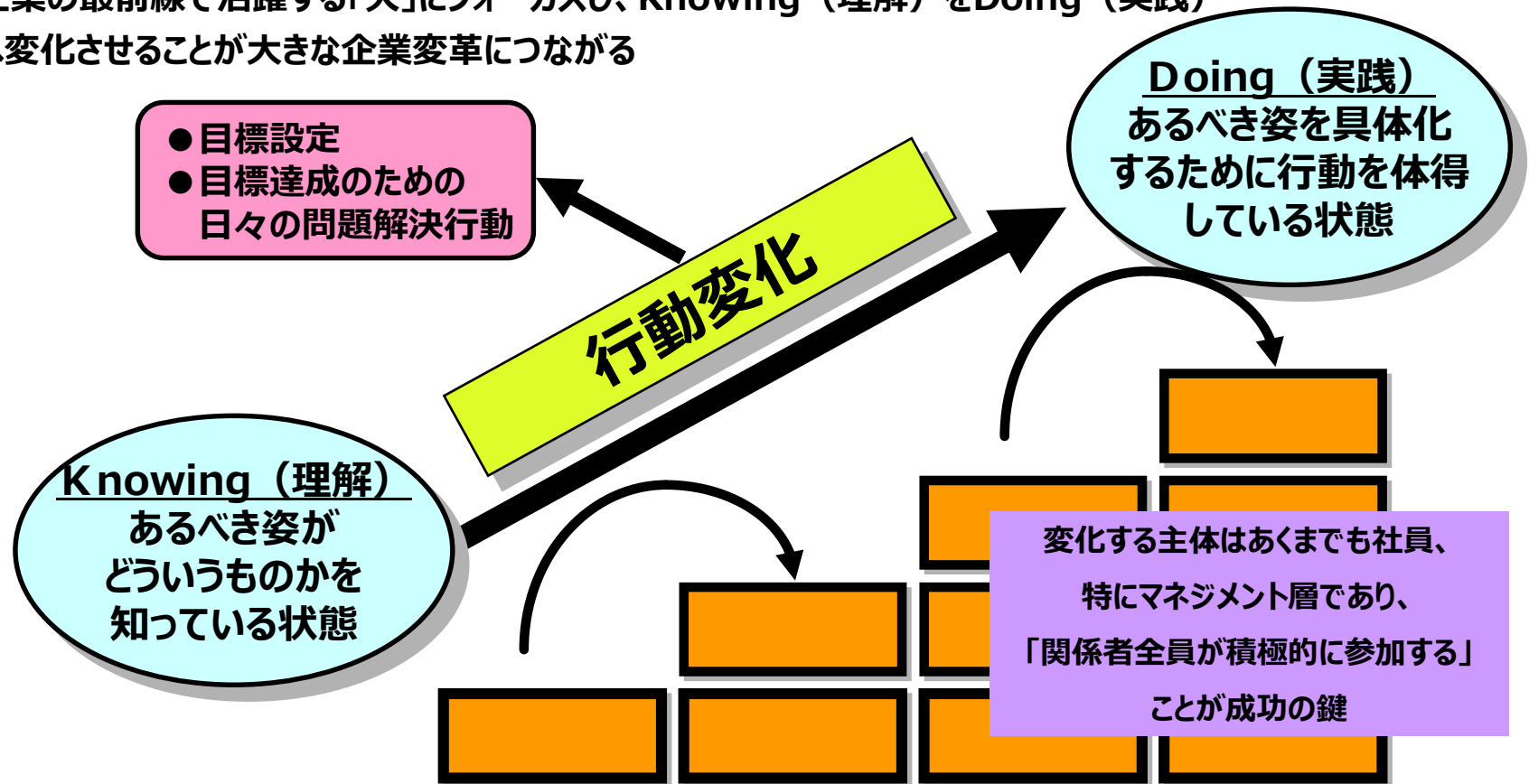
知的優位が競争優位を勝ち得るとは限らない

知識を持っているだけでは、問題は解決しない。多くの組織が知識を実行に移せない

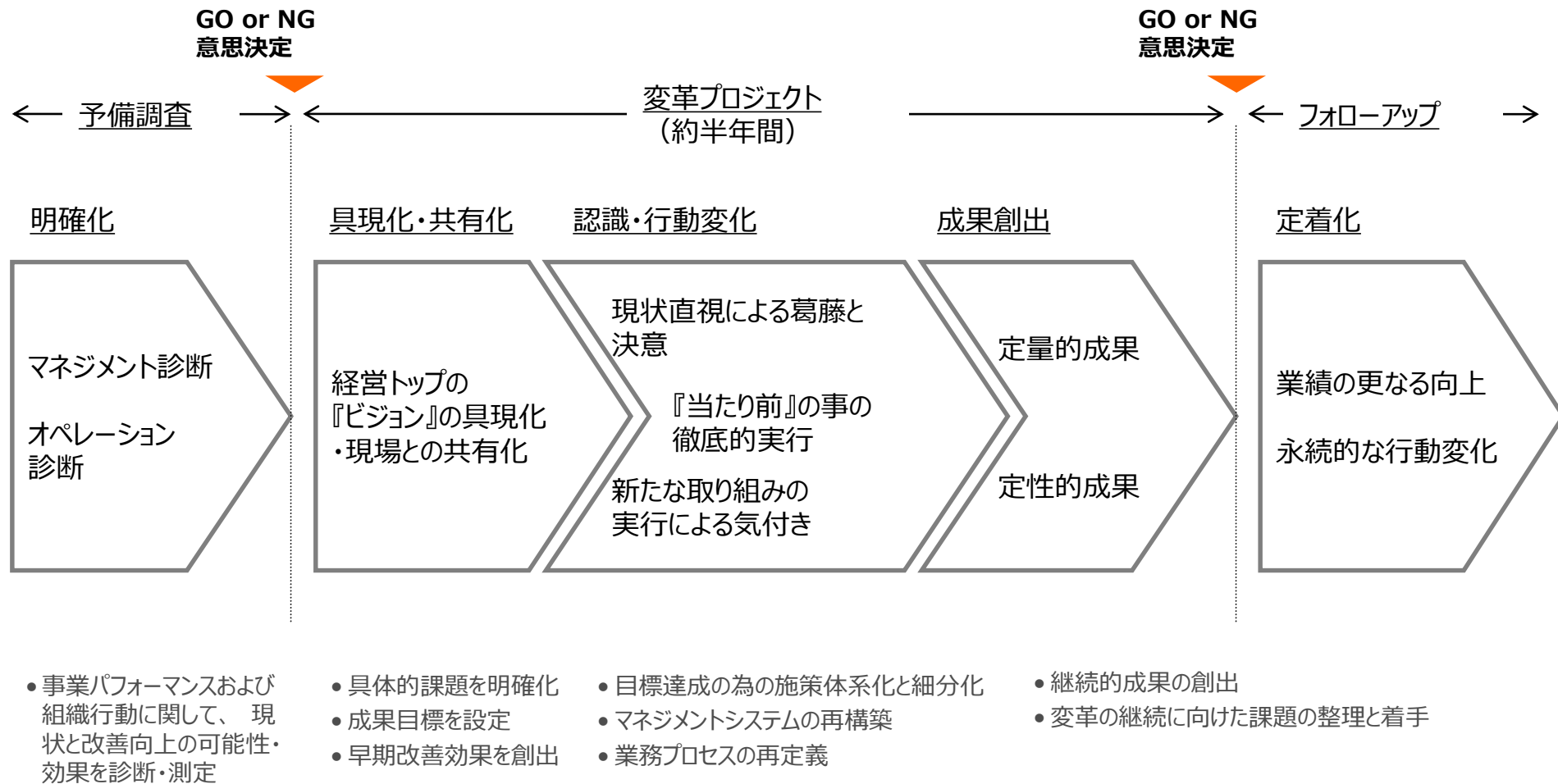
Knowing（理解）とDoing（実践）のGAPに苦悩している

企業の最前線で活躍する「人」にフォーカスし、Knowing（理解）をDoing（実践）

へ変化させることが大きな企業変革につながる



変革推進プロジェクトの実行ステップ（1/2）



変革推進プロジェクトの実行ステップ（2/2）

← 約6ヶ月 →

STEP1

明確化

変革のはじまり

- 具体的課題を明確化
- 成果目標を設定
- 早期改善効果を創出
(変革の「WHY」を共有)

実施・検討事項

- 何を目指すべきか
- 現状の何が問題か
- 問題にどう向き合うか
- 必要な解決行動は何か
- 何が変革を阻害するか

負の反応

- 変化への不安
- 現状否定への抵抗
- 目標への諦観

突破の糸口

- 巨視的目標に向き合う
- ありたい姿を想う
- 退路を断つ

STEP2

設計・開発

目標達成への道標

- 目標達成の為に施策体系化と細分化
- マネジメントシステムの再構築
 - ✓ 達成指標の設定
 - ✓ 業務プロセスの再定義
 - ✓ 人の関与のあり方を造り込み

- プロセスを見直す
- 仕事の手順を見直す
- PDCAサイクルを見直す
- 対話方法を見直す
- 学習のあり方を見直す

- 不慣れな行動習慣への迷い
- 煩雑さへの嫌悪
- 能力不足露呈への懸念

- あるべき姿にこだわる
- 小さな成功体験を得る
- 甘えを許容しない

STEP3

導入・習慣化

変革の常態化

- 変革行動の習慣化
- 継続的成果の創出
- 変革の継続に向けた課題の整理と着手

- 新たな行動様式を実践する
- S. I. C. * をきちんと回す
- 成果創出に執着する
- 自ら問題を解決し、やり抜く
- 自走態度を形成する

- 成果が出ずに停滞する
- 徹底しきれない
- APIに依存する

- 問題発見／解決サイクルを早く回す
- To Doの達成率を高める
- 自ら答えを出すまで粘り強く支える

※S.I.C.=Short Interval Control
高頻度のモニタリングによる軌道修正

APIのサービス領域

あらゆる業種・職種（機能）において、
マネジメント力の向上を図り、業務変革を実現致します。

